

8/

1日(火)~13日(日)・15日(火)~24日(木)・
26日(土)・27日(日)

日没から午後9時30分まで(晴天時のみ)

星空通信

2023年8月号

2日	満月
8日	下弦
10日	水星が東方最大離角
13日	金星が内合/ペルセウス座流星群極大
16日	新月
22日	伝統的七夕
23日	水星が留
24日	上弦
27日	土星が衝
29日	天王星が留
31日	満月



☆用語解説☆

衝…外惑星が太陽とちょうど反対側に来る瞬間

留…惑星が順行→逆行へ逆行→順行へ変わる時、一時停止して見えること

内合…地球-内惑星-太陽を並んだ時のこと

東方最大離角…太陽より東の方向に離れる瞬間

今月の惑星情報

水星

日の入り後の西の低空に位置。10日に東北最大離角となり、日の入り30分後の高度は10度にも満たず観察は難しい。そのあとはさらに高度が下がり観察しにくくなります。

金星

日の入り後の西の低空に位置。13日に内合、以後は日の出前の東の低空に位置。内合前後は見かけの位置が太陽に近く観察は難しいでしょう。月末に近づくにつれ徐々に高度を上げ目に付きやすくなります。

火星

月初はしし座を東に移動し、中旬にはおとめ座に移ります。見かけの位置が太陽に近く観察は難しい。

木星

おひつじ座を東に移動。夜半前に東の空に昇り、日の出前の南東から南の空たかく見えます。明るさは-2.4等~-2.6等。

土星

みずがめ座を西に移動。27日に衝となり見ごろとなる。真夜中の南の空に見える。明るさは0.6等~0.4等

夏休み(8/8を除く)は自由開放!ぜひ来てね!

ペルセウス座流星群

ペルセウス座流星群は三大流星群のひとつです。

今年は8/16が新月なので、月明かりの影響が少なく観察できます。

流れ星が多く見られるのは8/13~14にかけてですが、14日0時~3時頃が最も見やすく、13日0時~3時、22時~24時も見やすいそうです。ぜひ観察してみましょう!

夏休みの自由研究に
使えるかも!



コンパルホールイメージキャラクター
パルちゃん

